

令和元年度(第74回)文化庁芸術祭協賛公演
新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ

ガエターノ・ドニゼッティ

ドン・パスクワレ

Don Pasquale <新制作>

2019年11月9日(土)~11月17日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 好評発売中



トリエステ歌劇場公演より Photo: Fabio Barenzan

オペラの華、ベルカント・オペラから傑作喜劇『ドン・パスクワレ』を新制作

ドニゼッティのコミカルなオペラ・ブッファ『ドン・パスクワレ』が新国立劇場に初登場。大金持ちの老人ドン・パスクワレが、甥エルネストの恋人ノリーナと医師マラテストに泡ふかされるドタバタ劇が「あの騎士の眼差しは」「遥かなる土地を求めて」など、ドニゼッティならではの軽快で魅力的な曲に載せて繰り上げられます。

名バス歌手・スカンディウッツィ、ベルカントの貴公子ミロノフら世界のスターが登場！

タイトルロールには力強い声と演技力を誇るイタリアのベテランバス、ロベルト・スカンディウッツィが登場。エルネスト役は、ベルカント・オペラで世界を魅了している、今最も旬のテノール、マキシム・ミロノフ。騒動の首謀者マラテストには、イタリアをはじめ各地で頭角を表し、今や引っ張りだこのピアジオ・ピッツォーティ。そしてノリーナには、近年ヨーロッパ第一線の歌劇場に次々とデビューを飾っている注目のソプラノ、ハスミック・トロシャンが登場します。声の饗宴にふさわしく、選りすぐりのメンバーが腕によりをかけ、チャーミングな喜劇をお届けします。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

オペラの華、ベルカント・オペラから傑作喜劇『ドン・パスクワレ』を新制作

ベルカントを代表する作曲家ドニゼッティ晩年のオペラ・ブッファ『ドン・パスクワレ』が新国立劇場に初登場。大金持ちの老人ドン・パスクワレが、甥エルネストの恋人ノリーナと医師マラテスタに泡ふかされるドタバタ劇が、ノリーナのカヴァティーナ「あの騎士の眼差しは」、エルネストのアリア「遥かなる土地を求めて」など魅力的な曲に載せて繰り広げられます。

ヴィツィオーリ演出のプロダクションは、94年にミラノ・スカラ座で初演されて以来、イタリ

アをはじめ世界各地で上演されている決定版。オーソドックスな中に繊細な心理表現や効果的なシーン展開といった現代的な感性が光ります。

優美な音楽、声の美しさや歌手の技巧を楽しめるベルカント・オペラは、何といってもオペラの華。オペラハウスには欠かせないレパートリーとして、新国立劇場を彩ります。



トリエステ歌劇場公演より Photo: Fabio Parenzan

大人気バス・スカンディウツツィ、ベルカントの貴公子ミロノフら世界のスターが登場！

喜劇は芸達者な役者が揃ってこそ成立するもの。ベルカントならではの声の饗宴の名にふさわしい、選りすぐりのメンバーが集まります。

タイトルロールには力強い声と演技力を誇るイタリアの名バス、ロベルト・スカンディウツツィが登場。日本でも大人気のスカンディウツツィが、恋に目の狂ったご老人を演じます。パスクワレの甥エルネスト役は、ベルカント・オペ



マキシム・ミロノフ 2016年
『セビリアの理髪師』より

ラで世界を席巻している今最も旬のテノール、マキシム・ミロノフ。新国立劇場でも16年の『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァで端正な舞台姿と圧倒的テクニックを披露し、観客を魅了しました。ノリーナに登場するのは、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルで注目され、17年以後、ボローニャ、フィレンツェ、ハンブルク、ナポリ、トリノといった主要歌劇場に次々とデビューを飾っている注目のソプラノ、ハスミック・トロシャン。マラテスタには、ヨーロッパ主要歌劇場で引っ張りだこのピアジ



ロベルト・スカンディウツツィ
2001年『ドン・カルロ』より

ジョ・ピッツォーティが登場します。指揮はフィラデルフィア・オペラ音楽監督でベルカント・オペラで高く評価されるコッ

ラード・ロヴァーリス。腕によりをかけ、笑いに次ぐ笑いを誘う、チャーミングな喜劇をお届けします。

＜「ドン・パスクワレ」あらすじ＞

【第1幕】裕福な老人ドン・パスクワレは、主治医マラテスタに花嫁探しを依頼した。実はパスクワレの甥エルネストの親友でもあるマラテスタは、エルネストの恋人ノリーナを自分の妹と偽わってパスクワレと結婚させ辟易させて、逆にエルネストとの結婚を認めさせようと一計を案じる。エルネストは伯父の勧める結婚話を断り、パスクワレは自分が結婚して子を設けると宣言。エルネストは財産を相続してノリーナを迎える夢が破れ嘆く。ノリーナが小説の中の騎士に寄せ恋心を歌っていると、エルネストからローマを去るという手紙が届き驚く。マラテスタが来て計略を説明し、ノリーナをパスクワレ好みのうぶな娘に仕立て上げる。

【第2幕】パスクワレのもとへ、マラテスタがヴェールで顔を覆った女性を連れて登場、修道院出の妹ソフロニャと紹介する。パスクワレはすっかり気に入って、結婚式を執り行う。ノリーナが結婚の署名をする瞬間エルネストが入って来るが、マラテスタに言いくめられてエルネストも証人として署名する。式が終わった途端ノリーナの態度が豹変し、あれこれと注文を始め、大騒ぎとなる。

【第3幕】パスクワレ家は贅沢三昧のノリーナが買い物をした請求書の山。ノリーナは着飾って劇場へ行くと言い出し、止めようとする夫を平手打ち。その上わざと逢引の手紙を落として行き、パスクワレは大憤慨する。夜、庭でセレナーデを歌うエルネストの前にノリーナが登場。パスクワレとマラテスタがノリーナを捕える。逆上したパスクワレが妻に離縁を命じ、エルネストの結婚を許すと告げる。マラテスタがノリーナはここにいると言って自分の計略を明かし、パスクワレも許して若い二人を祝福する。

＜主要キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】コッラード・ロヴァーリス

Corrado ROVARIS

ベルガモ生まれ。フィラデルフィア・オペラ音楽監督、アトスフィア音楽祭管弦楽団音楽監督。ヴェローナの室内管弦楽団 "I Virtuosi Italiani" 首席指揮者。ベルカントやヴェリズモ・オペラで特に評価される。ミラノ音楽院で学び、ミラノ・スカラ座副合唱指揮者を務めた後、フィレンツェ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに招かれ、スカラ座、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、リヨン歌劇場、モンテカルロ歌劇場、ローザンヌ歌劇場、ケルン歌劇場、フランクフルト歌劇場などに登場。99 年、フィラデルフィア・オペラ『フィガロの結婚』でアメリカ・デビュー。カナディアン・オペラ・カンパニー『アンナ・ボレーナ』『ロベルト・デヴリュー』、サンタフェ・オペラ『シモン・ボッカネグラ』『愛の妙薬』『ドン・パスクワレ』『ルチア』『アルジェのイタリア女』などを指揮。フィラデルフィア・オペラではケヴィン・プッツ作曲『Elizabeth Cree』世界初演、ジョージ・ベンジャミン『リトゥン・オン・スキム』も絶賛された。昨シーズンはフィラデルフィアで『ルチア』『夏の夜の夢』『ラ・ボエーム』、『グラス・ヘンデル』世界初演、オビエド歌劇場『皇帝ティトの慈悲』を指揮。19/20 シーズンには、フィラデルフィア・オペラ『3 つのオレンジへの恋』『蝶々夫人』、セビリア・マエストランサ劇場『ドン・パスクワレ』、ローザンヌ歌劇場『愛の妙薬』、サンタフェ・オペラ『セビリアの理髪師』などを指揮する予定。新国立劇場初登場。



【演出】ステファノ・ヴィツィオーリ

Stefano VIZIOLI

イタリア出身。イタリアの著名劇場で定期的に演出しており、代表作にミラノ・スカラ座『ドン・パスクワレ』、シカゴ・リリック・オペラ『リゴレット』、パリ・シャンゼリゼ劇場『セビリアの理髪師』、ラヴェンナ音楽祭『ノルマ』などがある。スカラ座の『ドン・パスクワレ』、パルマ音楽祭『リゴレット』、サンカルロ歌劇場『モンテズマ』、『ルイザ・ミラー』、カリアリ歌劇場『ドン・パスクワレ』、パルマ音楽祭『セビリアの理髪師』、パート・ヴィルトパートの『二人のフィガロ』はDVD化されている。現代作品、パロッド作品、より広い観客へ向けた企画に意欲的で、ローマ歌劇場『蝶々夫人』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『リゴレット』、サンタフェ・オペラ『シモン・ボッカネグラ』、ザンクトガレン『サムソンとデリラ』、北京・国家大劇院『リゴレット』、ブエノスアイレス・コロン大劇場『第一次十字軍のロンバルディア人』などを手掛け、13 年にブータンでヘンデル『エイシスとガラテア』、16 年に鎌倉、東京で上演された『ジャパン・オルフェオ』を演出した。今年 8 月にはインスブルック古楽音楽祭で 17 世紀の作曲家チェスティの『ラ・ドーリ』を演出している。新国立劇場初登場。



【ドン・パスクワレ】ロベルト・スカンディウツィ

Roberto SCANDIUZZI

イタリア生まれ。24 歳でミラノ・スカラ座に『フィガロの結婚』でデビュー。英国ロイヤルオペラ『シモン・ボッカネグラ』フィエスコで成功し国際的な活躍が始まり、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、サンフランシスコ・オペラなどに出演。近年では、フィレンツェ歌劇場『ペレアスとメリザンド』アルケル、ベルリン州立歌劇場『メフィストフェレ』タイトルロール、パリ・オペラ座『アイダ』ランフィス、北京・国家大劇院『ノルマ』オロヴェーゾ、英国ロイヤルオペラ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、ジュネーヴ大劇場『セビリアの理髪師』バジリオ、フェニーチェ歌劇場『ドン・パスクワレ』、ローマ歌劇場『ラ・ジョコンダ』アルヴィーゼ、トゥールーズ・キャピトル劇場『ドン・カルロ』フィリッポ二世などに出演。最近では、オペラ・オーストラリア『アイダ』『リゴレット』、リヨン歌劇場『ドン・カルロ』『マクベス』、フェニーチェ歌劇場『夢遊病の女』『セビリアの理髪師』、バーリ・ベトルツェリ劇場『シモン・ボッカネグラ』、ザクセン州立歌劇場『セビリアの理髪師』、ベルリン州立歌劇場『修道院での婚約』（ブロッコフィエフ作曲）などに出演。19/20 シーズンは、フランダース・オペラとベルギー・ワロニー歌劇場で『ドン・カルロ』、ジュネーヴ歌劇場『トゥーランドット』などに出演予定。新国立劇場には 01/02 シーズン『ドン・カルロ』以来の登場。



【マラテスタ】ピアジオ・ピッツォーティ

Biagio PIZZUTI

イタリア・サレルモ出身。サンタ・チェチーリア音楽院のオペラスタジオに参加しレナータ・スコットのもとで学ぶ。ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場専属歌手として『ジャンニ・スキッキ』、『ラ・ボエーム』マルチェットとシヨナル、『ロメオとジュリエット』グレゴリオなどに出演。コモ歌劇場『愛の妙薬』ドゥルカマール、ザルツブルク聖霊降臨祭音楽祭『クレオパトラ』、スポレートで『蝶々夫人』シャープレス、アン・デア・ウィーン劇場、フィレンツェ歌劇場で『ジャンニ・スキッキ』ベッティ、マリボール歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』レポレツコ、フェッラーラ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、パレルモ・マッシモ劇場『セビリアの理髪師』『ドン・バルトロ』などに出演。最近では、ナポリ・サン・カルロ歌劇場『ラ・ボエーム』シヨナル、フィレンツェ歌劇場『アルジェのイタリア女』タッデオ、『愛の妙薬』ベルコーレ、トレヴィーゾとフェッラーラで『ルチア』エンリーコ、ヴェローナ歌劇場『ラ・ボエーム』、『ドン・ジョヴァンニ』レポレツコなどに出演した。今後の予定に、ベルリン・ドイツ・オペラ『セビリアの理髪師』バルトロ、ルーアン・オペラ『セルセ』、フィレンツェ歌劇場『愛の妙薬』などがある。新国立劇場初登場。



【エルネスト】マキシム・ミロノフ

Maxim MIRONOV

ロシア・トゥーラ生まれ。グネーシン音楽大学を卒業後、ヘリコン・オペラでデビュー、ドイツのコンクール"新しい声"で優勝して国際的なキャリアをスタートさせる。ロッシーニのスペシャリストとして活躍し、2005 年にはロッシーニ・オペラ・フェスティバルにデビュー、18 年には『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵で絶賛された。これまでに、ミラノ・スカラ座、フェニーチェ歌劇場、ボローニャ歌劇場、マドリッド王立劇場、ウィーン国立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、サンカルロ歌劇場、ロサンゼルス・オペラ、ワシントン・ナショナル・オペラ、パリ・オペラ座、エクサンプロヴァンス音楽祭、シャンゼリゼ劇場、グラインドボ

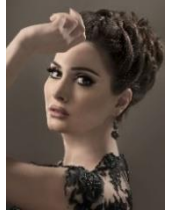


ーン音楽祭などで、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、『アルジェのイタリア女』リンドーロ、『ランスへの旅』リーベンスコフ伯爵、『チェネレントラ』ドン・ラミーロ、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオなどに出演。昨シーズンは、ボローニャ歌劇場『連隊の娘』、パルセロナ・リセウ大劇場『アルジェのイタリア女』リンドーロ、スカラ座、ローマ歌劇場『チェネレントラ』、ベルリン州立歌劇場『セビリアの理髪師』などに出演。今後の予定に、フェニーチェ歌劇場とリセウ大劇場で『セビリアの理髪師』、マスカット・ロイヤルオペラ『アンナ・ボレーナ』、フィレンツェ歌劇場『ドン・パスクワレ』、モンテカルロ歌劇場『オリー伯爵』、ウィーン国立歌劇場『アルジェのイタリア女』などがある。新国立劇場では 16/17 シーズン『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵に出演した。

【ノリーナ】ハスミック・トロシヤン

Hasmik TOROSYAN

アルメニア・エレバン生まれ。当地で学び、数々のコンクールで優勝した後、2011 年より、アルメニア国立アカデミーオペラ・バレエ A.スペンディアリヤン劇場で活躍している。グレイス・バンブリー、テレサ・ベルガンサ、ミレッラ・フレニ、フアン・ディエゴ・フローレスなどのマスタークラスに参加したのち、13 年にはグラインドボーン音楽祭にツアー公演でデビュー、14 年、15 年にはペーザロ・ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに出演した。15 年には『ラ・ボエーム』ムゼッタでフランダース・オペラ、17 年にはボローニャ歌劇場、フィレンツェ五月音楽祭、18 年にはハンブルク州立歌劇場、パリ・シャンゼリゼ劇場、今年に入ってナポリ・サン・カルロ歌劇場、トリノ王立歌劇場など次々と主要な劇場にデビューを果たしている。レパートリーは『イタリアのトルコ人』フィオリツァ、『新聞』リゼッテ、『夢遊病の女』アミーナ、『連隊の娘』マリー、『愛の妙薬』アディーナなどのベルカントの諸役を中心とし、他に『魔笛』夜の女王、『イドメネオ』イーリア、『ラ・ボエーム』ムゼッタなどでも活躍している。最近ではボローニャ歌劇場『連隊の娘』マリー、パレルモ・マッシモ劇場、ナポリ・サン・カルロ歌劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、トリノ王立歌劇場『夢遊病の女』アミーナなどに出演。今シーズンはトリノ王立歌劇場『真珠採り』レイラ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、ハンブルク州立歌劇場『イタリアのトルコ人』フィオリツァ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、北京、オマーンで『3 つのオレンジへの恋』などに出演予定。新国立劇場初登場。



令和元年度(第74回)文化庁芸術祭協賛公演
 新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
 ガエターノ・ドニゼッティ
ドン・パスクワレ
 Gaetano DONIZETTI / Don Pasquale
 全3幕くイタリア語上演/日本語及び英語字幕付

【公演日程】2019年11月9日(土)14:00/11日(月)19:00/13日(水)14:00/16日(土)14:00/17日(日)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:27,000円・A:21,600円・B:15,120円・C:8,640円・D:5,400円・Z:1,620円

※消費税率の引き上げに伴い、10月1日以後、料金が変更になる場合があります。

【前売開始】2019年7月28日(日)

指揮	コッラード・ロヴァーリス	ドン・パスクワレ	ロベルト・スカンディウツィ
Conductor	Corrado ROVARIS	Don Pasquale	Roberto SCANDIUZZI
演出	ステファノ・ヴィツィオーリ	マラテスタ	ピアジオ・ピッツーティ
Production	Stefano VIZIOLI	Dottor Malatesta	Biagio PIZZUTI
美術	スザンナ・ロッシ・ヨスト	エルネスト	マキシム・ミロノフ
Set Design	Susanna ROSSI JOST	Ernesto	Maxim MIRONOV
衣裳	ロベルタ・グイディ・ディ・バーニョ	ノリーナ	ハスミック・トロシヤン
Costume Design	Roberta GUIDI DI BAGNO	Norina	Hasmik TOROSYAN
照明	フランコ・マツリ	公証人	千葉裕一
Lighting Design	Franco MARRI	Un notaro	CHIBA Yuichi
演出助手	ロレンツォ・ネンチーニ		
Assistant Director	Lorenzo NENCINI		
舞台監督	村田健輔		
Stage Manager	MURATA Kensuke		

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

ノリーナ役キャスト変更のお知らせ

ノリーナ役で出演を予定しておりましたダニエル・ドウ・ニースは、本人の都合により出演できなくなりました。代わりまして、ハスミック・トロシヤンが出演いたします。

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/donpasquale/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* Z席 1,620円: 公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。